

表1. アンモニアに対する消臭試験 (28%-アンモニア水滴下量; 30 μL)

検体	1回目		2回目		平均	
	ガス濃度 (ppm)	除去率 (%)	ガス濃度 (ppm)	除去率 (%)	ガス濃度 (ppm)	除去率 (%)
対照（精製水）	50		53		51.5	
A(FS無添加)	28	44.0%	30	43.4%	29.0	43.7%
A(FS-1800配合)	15	70.0%	16	69.8%	15.5	69.9%
B(FS無添加)	39	22.0%	38	28.3%	38.5	25.2%
B(FS-1800配合)	12	76.0%	13	75.5%	12.5	75.7%
他社製品C	15	70.0%	16	69.8%	15.5	69.9%
他社製品D	30	40.0%	35	34.0%	32.5	36.9%

試験方法

豚皮5×5cmを生理食塩水に1時間以上浸漬後、ワイパーにて軽く水切りする。
この豚皮表面に悪臭を滴下し、2つ折りにして1分間放置して悪臭を染み込ませる。

各供試品をφ90mmのシャーレに30g入れ、その中に悪臭を染み込ませた豚皮を
1分間漬ける。その後3Lの水にて30秒間すすぎ、350mLガラス密閉容器に入れる。

豚皮を入れた350mL密閉容器を40°Cにて30分間加温後、容器内の悪臭濃度を測定する。

表2. i-吉草酸に対する消臭試験 (i-吉草酸滴下量; 30 μL)

検体	1回目		2回目		平均	
	ガス濃度 (ppm)	除去率 (%)	ガス濃度 (ppm)	除去率 (%)	ガス濃度 (ppm)	除去率 (%)
対照（精製水）	18		20		19.0	
A(FS無添加)	4	77.8%	4	80.0%	4.0	78.9%
A(FS-1800配合)	2	88.9%	2	90.0%	2.0	89.5%
B(FS無添加)	8	55.6%	7	65.0%	7.5	60.5%
B(FS-1800配合)	5	72.2%	4	80.0%	4.5	76.3%
他社製品C	4	77.8%	4	80.0%	4.0	78.9%
他社製品D	9	50.0%	10	50.0%	9.5	50.0%

表3. メチルメルカプタンに対する消臭試験 (6%-メチルメルカプタン水滴下量; 25 μL)

検体	1回目		2回目		平均	
	ガス濃度 (ppm)	除去率 (%)	ガス濃度 (ppm)	除去率 (%)	ガス濃度 (ppm)	除去率 (%)
対照（精製水）	6		7		6.5	
A(FS無添加)	2	66.7%	3	57.1%	2.5	61.5%
A(FS-1800配合)	1	83.3%	2	71.4%	1.5	76.9%
B(FS無添加)	2	66.7%	3	57.1%	2.5	61.5%
B(FS-1800配合)	1	83.3%	2	71.4%	1.5	76.9%
他社製品C	4	33.3%	4	42.9%	4.0	38.5%
他社製品D	1	83.3%	2	71.4%	1.5	76.9%

表4. ノネナールに対する消臭試験 (ノネナール滴下量; 25 μL)

検体	1回目		2回目		3回目		平均	
	ガス濃度 (ppm)	除去率 (%)	ガス濃度 (ppm)	除去率 (%)	ガス濃度 (ppm)	除去率 (%)	ガス濃度 (ppm)	除去率 (%)
対照（精製水）	53.7		52.2		50.1		52.0	
A(FS無添加)	35.2	34.5%	32.0	38.7%	30.8	38.5%	32.7	37.1%
A(FS-1800配合)	11.8	78.0%	12.1	76.8%	11.6	76.8%	11.8	77.3%
B(FS無添加)	27.4	49.0%	30.2	42.1%	30.6	38.9%	29.4	43.5%
B(FS-1800配合)	14.1	73.7%	15.0	71.3%	15.0	70.1%	14.7	71.7%
他社製品C	36.2	32.6%	33.1	36.6%	30.3	39.5%	33.2	36.2%
他社製品D	58.3	-8.6%	50.5	3.3%	47.7	4.8%	52.2	0.0%